躍動するスピリッツ、深め合う絆

本学の公認団体として、体育会所属の運動部・団体が54団体、体育会に所属していない体育系サークルが30団体、文化系サークルが94団体あります。そのほか、多くの課外活動学生団体が熱心な活動を行っています。

応援団

応援団は1956年に創団し、2026年で創団70周年を迎えました。リーダー部、チアリーダー部、ブラスバンド部の三部で構成され、現在31名で活動しています。硬式野球部やアメリカンフットボール部をはじめ様々な体育会クラブの応援を行い、オープンキャンパスや全国七大学総合体育大会や11月祭前夜祭などにおいて、演舞演奏を披露しています。また、11月祭前夜祭や紅萠祭では演舞演奏の披露だけでなく、他団体と協力しながらイベントの運営も行い、体育会だけでなく京大全体を盛り上げる活動を行っています。





ラグビー部

ラグビー部は今、上昇気流に乗っています。大鶴誠主将が23歳以下日本代表に選出され、学生主導の自由闊達な運営のもと、攻撃型の「爆速ラグビー」を掲げています。強豪私立大がひしめく関西1部リーグ昇格も現実味を増しています。オックスフォード大学やインペリアル・カレッジ・ロンドンなど海外大学との交流も国内随一です。「自由の学風」と「グローバルに活躍する高度人材」という大学の理念を体現する逸材を、これからも生み出していきます。





かるた会ぼいらぁ

かるた会ぼいらぁは、競技かるたを愛好する団体です。京都大学唯一の競技かるたサークルとして、かるたを楽しみながら日々切磋琢磨しています。普段はメンバー同士での対戦や他大学との交流を通して練習に励み、全国各地で開催される大会に出場しています。個人戦では優勝・入賞などの実績を残しており、着実に力をつけています。また、サークル一丸となって挑む団体戦にも力を入れており、今年度の大学選手権団体戦ではベスト8入賞、昨年度の全国学生職域かるた大会ではC級リーグで優勝・3位入賞、B級リーグで準優勝など団体戦でも好成績を収めています。



剣道部

剣道部は創部120年以上の歴史と伝統を有するクラブです。個人で全国大会に出場する選手もおり、2025年度には7年ぶりに団体でも全国大会出場を果たしました。こうした高い競技レベルで活躍する者から、大学から剣道を始めた者まで、さまざまな経験を持つ部員が在籍しています。経験の異なる部員同士が互いに刺激を与え合い、切磋琢磨できることも剣道部の特徴です。一つの型にとらわれることなく、それぞれが自ら考えて稽古に取り組み、互いの長所を学びながら、自分自身の剣道を追求しています。また、稽古や試合を通じて技術の向上だけでなく、礼節を身につけ、仲間とともに成長することも大切にしています。

ヨット部

ヨット部は、滋賀県大津市の柳が崎ヨットハーバーを拠点に活動している部活動です。現在は部員総勢85名を擁する大所帯となっており、スナイプ級・470級の二つのクラスに分かれて、全日本での上位入賞を目指して日々練習に励んでいます。ヨット競技は、風や波といった自然条件を読み取りながら、限られた艇の性能を最大限に引き出し、順位を競うスポーツです。昨年度は、全日本インカレ団体戦において総合5位という成績を収めました。今年度は、「全日本インカレ団体戦総合三位」を目標に掲げ、「一蓮托生」というスローガンのもと活動しています。この言葉には、一人ひとりが自分の役割を果たすだけでなく、部員全員が互いに支え合い、同じ目標に向かって責任を共有しながら進んでいくという思いを込めています。



環境サークルえこみっと

環境サークルえこみっとは、ごみ問題を中心に、環境問題に実践的に取り組む学生団体です。例年は、学祭で発生するごみの減量・分別・リサイクルを担う11月祭環境対策委員会と、卒業生の不要になった家具・家電を新入生へ譲り渡すリサイクル市の運営を行っています。昨年は大学周辺のごみ拾いや祇園祭ごみゼロ大作戦への参加、学祭ごみの重量のライブ中継を行ったほか、大学と協働して学内不法投棄問題への対応を考え、西部構内での清掃活動を行いました。長年受け継がれてきた活動の運営に加えて、新たな取り組みや学内外の団体との連携にも挑戦しました。大きな環境問題もまずは身近なところから考え、日々の実践を通して行動するきっかけを広げることを大切にしています。



